

RADIOLOGICAL SAITAMA

2012

別冊 No.1



vol.60
埼玉放射線

総会・学術大会特集号

社団法人 埼玉県放射線技師会

<http://www.sart.jp>

E-mail sart@beige.ocn.ne.jp

RADIOLOGICAL SAITAMA

CONTENTS

2022/1
JANUARY
VOL.60

別冊

会 告

第28回社団法人埼玉県放射線技師会総会の開催 1

総会資料

平成24年度事業計画(案)
「フライングは違反ではない」 3
平成24年度当初予算(案) 4
平成24年度一般会計予算の概要 5

本会の動き

瑞宝双光章の叙勲を受けました 6
公衆衛生事業功労者表彰を受賞して 7
平成23年度 役員研修会報告 8
平成23年度 MRI基礎講習会開催報告 9
彩の国いきいきフェスティバル参加報告 10
平成23年度 第10回胸部認定講習会報告 12

報 告

平成23年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会参加報告 13
第71回日本放射線技師会定期総会報告 14

各地区掲示板

第一地区 16
第二地区 18
第三地区 26
第四地区 28
第五地区 30
第六地区 32

自由投稿

みんなのカブリッチオ
SARTランニングクラブ通信 川越小江戸マラソン参加 34

会員の動向

会員の動向(平成23年11月30日現在) 35

議事録

平成23年度 第3回常任理事会議事録(抄) 36
平成23年度 第5回理事会議事録(抄) 37

第28回社団法人埼玉県放射線技師会総会の開催

社団法人 埼玉県放射線技師会
会長 小川 清

日 時：平成24年3月11日（日）

会 場：JA共済埼玉ビル

住所：〒330-0801 埼玉県さいたま市大宮区土手町1-2

電話：048-644-2271

内 容：第28回社団法人埼玉県放射線技師会総会（予算）

総会次第

開 会 の 辞
会 長 挨 拶
来 賓 挨 拶
総会運営委員会報告
議 長 選 出
総 会 職 員 任 命
議 事

1. 平成24年度事業計画案
2. 平成24年度当初予算案
3. その他

閉 会 の 辞

総会運営委員

三橋 則行、山岸 洋大、後藤 正樹、大野 渉、西山 史朗、仙波 亮

※委任状（往復はがき）を後日郵送します。欠席されます会員の方は、必ず委任状を返信していただきますようよろしくお願い致します。

総 会 資 料

平成24年度事業計画（案）

平成24年度当初予算（案）

平成24年度一般会計予算
の概要について

平成24年度事業計画（案） 「フライングは違反ではない」

1. はじめに

診療放射線技師の業務が大きく変わろうとしております。（社）日本放射線技師会が昨年実施した診療放射線技師業務実態調査は、我々診療放射線技師が多方面にわたり、診療行為を行い、医療に貢献していることが証明されました。一方で医行為ではないかとの指摘も一部にあり、グレーゾーンという認識から、業務内容は施設により様々でした。今回実態調査のデータを基に、業務内容について、チーム医療という観点から見直しされ、研修を踏まえて日本中の診療放射線技師が安心して、実行可能となることを期待しております。

（社）埼玉県放射線技師会（以下本会という）は、過去から生涯教育、特に実際の臨床現場で役立つ研修を実施して参りました。胸部や消化管などの認定技師は、研究会の協力を得て他の団体に先駆けて始まり、継続していることに高い評価が与えられております。またマンモグラフィ講習会は、他団体との共催にて実施しております。いずれも今日の講習会のあり方を見通したような運営と思えます。そして今、日本放射線技師会の生涯教育、そして種々のNPO認定機構が誕生してきた中で、見直しも必要かもしれません。

公益社団法人への移行に際しては、再度会員の皆様のご承認をいただき、昨年9月に所轄官庁へ申請させていただきました。公益社団法人は、法人組織として1つ階段を昇った、より成熟した組織と思ひ、ここ数年本会の重要な施策として、また理事の責任として活動してきました。よい結果が出ることを期待しております。

本会は、常に顧客満足という視点から運営してきましたが、本年も同様に会員が期待する職能団体を目指して理事一同全力で走ります。ご支援のほどよろしく申し上げます。

2. 基本方針

- 1) 「improvement改善」と「diversity多様性」
- 2) 「complete lifelong education生涯教育の充実」
- 3) 「study and investigation研究と調査」
- 4) 「cooperation連携からcollaboration協働」

3. 事業計画

3.1 職業人としての質の向上

- 1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催
 - ・埼玉診療放射線技師学術大会
 - ・胸部撮影認定講習会
 - ・上部消化管検査認定講習会
 - ・フレッシュャーズ・セミナー（SARTセミナー）
 - ・放射線技術部門マネジメント・セミナー（医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成）

- ・CT検査認定講習会
 - ・MRI基礎講習会
 - ・救急セミナー（日本救急撮影技師認定機構との共催）
 - ・読影力向上講習会（地区開催セミナー）
 - ・放射線工業界との合同開催企画
- 2) 会員講師の育成と体制づくり
 - 3) 他県放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進
 - ・関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力
 - ・埼玉県医師会主催事業への支援
 - ・埼玉臨床画像研究会
 - ・日本放射線技術学会関東部会との合同企画
 - ・日本放射線技師会との合同開催企画
 - ・各認定機構との合同企画（埼玉開催の推進）
 - 4) アドバイザー（技術・業務支援）の創設・育成
 - 5) 研修病院紹介などの体制づくり
 - 6) 医療被ばく線量の適正化

3.2 組織運営に関わる事業

- 1) 行政との連携・埼玉県医療整備課との頻繁な情報交換
- 2) 会員情報の適正管理
- 3) 公益社団法人化への対応

3.3 公益目的事業

- 1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊
- 2) 市民公開講座の開催
- 3) 地域自治体主催事業への参画
- 4) 医療画像展の開催と支援
- 5) 市民向けホームページの充実
- 6) 医療被ばく相談の迅速な対応

3.4 情報

- 1) 診療放射線技師向けホームページの充実
- 2) メールマガジンの有効利用
- 3) 学術資料などのデータベース化

3.5 財務

- 1) 健全財務状況の継続
- 2) 新公益法人会計基準への移行

3.6 その他

- 1) 役員外の会員登用によるプロジェクトチームの創設
- 2) 中長期計画の策定
- 3) 医療技術関係団体との連携
- 4) 技師会センター長期修繕計画の立案
- 5) 日本放射線技師会主催講習会への協力

ご審議のほどよろしくお願い致します。

平成24年度当初予算（案）

自平成24年4月1日 至平成25年3月31日

社団法人 埼玉県放射線技師会

単位：円

科 目	当年度予算額	前年度当初予算額	増減額	備考
事業活動収支の部				
事業活動収入	16,845,000	16,075,000	770,000	
会費収入	11,850,000	11,645,000	205,000	
正会員会費収入	11,250,000	11,070,000	180,000	@9000×1250
賛助会員収入	600,000	575,000	25,000	@25000×24社
事業収入	4,820,000	4,240,000	580,000	
会誌広告料収入	1,620,000	1,740,000	▲ 120,000	@120000×3社 @60000×21社
研修事業収入	2,000,000	2,000,000	0	各種講習会・学術大会
その他の事業収入	400,000	400,000	0	倉庫2F賃貸料
福利厚生事業収入	800,000	100,000	700,000	新春の集い・ソフトボール大会
寄付金収入	0	0	0	
一般寄付金収入	0	0	0	
一般寄付金収入	0	0	0	
雑 収 入	175,000	190,000	▲ 15,000	
受取利息収入	10,000	10,000	0	
雑 収 入	165,000	180,000	▲ 15,000	日放技業務委託費@150×1250
事業活動支出	15,687,500	15,550,000	137,500	
事業費支出	9,300,500	9,150,000	150,500	
学術・教育費支出	2,433,000	2,300,000	133,000	各種講習会・学術大会等
出版事業費支出	5,050,000	5,000,000	50,000	会誌印刷・郵送料等
連絡費支出	0	150,000	▲ 150,000	各事業支出へ繰入
福利厚生費支出	400,000	400,000	0	ソフトボール大会・慶弔費
調査事業費支出	0	100,000	▲ 100,000	
公益事業費支出	1,417,500	1,200,000	217,500	医療画像展・公開講座・小冊子被爆相談等
その他の事業費支出	540,000	750,000	▲ 210,000	
表彰費支出	200,000	200,000	0	表彰状作成・記念品等
賃借料支出	340,000	550,000	▲ 210,000	リース代（骨密度測定装置）
管理費支出	5,647,000	5,650,000	▲ 3,000	
給料手当支出	1,126,000	1,150,000	▲ 24,000	人件費
役員報酬支出	100,000	0	100,000	会員外監事
会議費支出	700,000	1,000,000	▲ 300,000	理事会・常任理事会
旅費交通費支出	200,000	200,000	0	交通費
通信運搬費支出	400,000	370,000	30,000	電話料金・インターネット代等
消耗什器備品費支出	200,000	200,000	0	
消耗品費支出	350,000	350,000	0	
修繕費支出	100,000	100,000	0	
光熱水料費支出	200,000	200,000	0	
賃借料支出	181,000	0	181,000	コピー機・会場費等
租税公課支出	150,000	150,000	0	固定資産税・収入印紙代等
業務委託費支出	900,000	900,000	0	税理士顧問料等
支払手数料支出	300,000	300,000	0	振込手数料等
総会費支出	440,000	430,000	10,000	予算・決算（創立総会含）
保険料支出	150,000	150,000	0	火災保険・障害保険
渉外費支出	100,000	100,000	0	
雑費支出	50,000	50,000	0	
その他の支出	200,000	0	200,000	
法人税、住民税及び事業税	200,000	0	200,000	
事業活動収支差額	1,157,500	525,000	632,500	
投資活動収支の部				
投資活動支出	1,000,000	11,000,000	▲ 10,000,000	
特定資産取得支出	1,000,000	11,000,000	▲ 10,000,000	
記念行事積立資産支出	0	1,000,000	▲ 1,000,000	
減価償却引当資産取得支出	1,000,000	10,000,000	▲ 9,000,000	
有形固定資産取得支出	0	0	0	
什器備品支出	0	0	0	
投資活動収支差額	▲ 1,000,000	▲ 11,000,000	10,000,000	
予 備 費	0	42,000	▲ 42,000	
当期収支差額	157,500	▲ 10,517,000	10,674,500	
前期繰越収支差額	1,000,000	12,000,000	▲ 11,000,000	
次期繰越収支差額	1,157,500	1,000,000	157,500	

平成24年度一般会計予算の概要

会員の皆さまにおかれましては、平素より当会の事業活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、昨年度の事業実績と平成23年度の予算執行状況、次年度の事業計画に基づき、平成24年度一般会計予算を作成致しました。

以下に昨年度と比較し、大きく変更のあったものについてご報告させていただきます。

1. 事業収入について

「会誌広告料収入」につきましては、掲載広告のサイズ縮小により、昨年度に比べ減額となりました。

「福利厚生事業収入」につきましては、例年の通り賀詞交換会を開催する予定となっておりますので、参加費分が増額となっております。

2. 事業支出・管理費支出について

以前より予算立てをしておりました「連絡費支出」を、次年度からは各事業の「通信運搬費」として振り分けました。また「調査事業費支出」につきましては、次年度事業に調査事業が予定されていないため、予算計上を行っていません。

その他の事業における「賃借料支出」は、公益目的事業にて使用する骨密度測定装置のリース料金のみとし、その他に関しては、管理費に「賃借料支出」の科目を新たに設け、分けて予算計上をしています。

管理費支出では、新たに「役員報酬支出」の科目を設けました。また委員会開催時の会議費は、各事業費に組み入れておりますので、「会議費支出」が減額となっております。

3. 投資活動支出

昨年度同様、年度の繰り越し収支差額が1,000,000円弱と予想されるため、遊休財産とならないよう、減価償却引当資産取得支出として積み立てを予定しています。

以上が平成24年度一般会計予算の概要となります。

次年度予算につきましては、公益法人認定取得後の予算となりますので、予算書の書式が従来のものから、損益計算書ベースのものへ変更となります。しかしながら、新書式の予算書では昨年度との比較が困難のため、従来書式のことを資料として提示させていただきます。

ご審議のほどよろしくお願い致します。

瑞宝双光章の叙勲を受けました

(財) 埼玉県健康づくり事業団
小島 精一



埼玉県放射線技師会会員の皆さまには益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて私こと、社団法人埼玉県放射線技師会のご推薦により平成23年秋の叙勲におきまして、はからずも瑞宝双光章の榮に浴することが出来ました。

もとより浅学非才で、さほどの功績はありません。強いて言うなら埼放技役員に十数年在籍したことや消化器がん検診学会世話人を長く努めてきたこと、東松山市立市民病院で放射線科部長に就任した程度で、全て周りの支えのお陰です。何よりも、この叙勲は小川会長をはじめとする理事各位や会員の皆さま方、加えて諸先輩方々のご厚情によるもので、衷心より厚くお礼を申し上げます。

去る平成23年11月3日の新聞発表、翌4日埼玉県知事公館での勲記・勲章の伝達式および知事・授章者・副知事を含む県幹部職員とのティーパーティーに出席し、中庭で知事とのツーショットを撮るなど貴重な体験をしました。11月15日(火)には厚生労働省での授章記念式典に参列、引き続き皇居(豊明殿)での天皇陛下のご拝謁の榮を賜りました。今回の拝謁では、天皇陛下ご入院中のため、陛下ご自身の拝謁は出来ませんでした。皇太子殿下も陛下の代役で都合がつかず、秋篠宮殿下が初めて陛下のご名代をお務めになりました。秋篠宮殿下の優しいお人柄と皇居内の荘厳な建築物、豊明殿での拝謁を経験し改めて叙勲の重さを感じました。これら一連の儀式はこれまで経験がなく、私にとって生涯最高の思い出でになります。皆さま方の長年にわたるご指導、ご支援の賜物と深く感謝申し上げた一日でございました。

今後は一層精励し、いささかなりともご芳情に報いたいと存じますので、何卒従前の厚誼ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、社団法人埼玉県放射線技師会の益々の発展と会員の皆さま方のご多幸とご健勝を祈念申し上げ、謹んでお礼のご挨拶とさせていただきます。

公衆衛生事業功労者表彰を受賞して

埼玉社会保険病院
松坂 宏夫



この度、平成23年11月18日に埼玉県民健康センターで開催された「第55回埼玉県公衆衛生大会」に於いて、公衆衛生事業功労賞を受賞することが出来ました事を大変光栄に存じます。これもひとえに、小川会長をはじめ、推薦して戴きました埼玉県放射線技師会役員の方々のお陰と感謝に堪えません。

私が技師会の仕事に携わったのが平成元年ですので、早23年前になります。当時何もわからず役員の方々に迷惑ばかりかけていたような気がします。そんな私を温かくご指導して下さいました当時の役員の方々のお陰で、今の私があると思っております。また、会務に対しご理解ご協力を戴いた職場の皆さまに対しても、本当にお礼と感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も埼玉県放射線技師会には、どんな形にせよ微力ながら協力を出来ればと考えております。まだまだ未熟な私ですので、今後とも皆さま方のご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

最後になりますが埼玉県放射線技師会の益々の発展と、役員皆さまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

ありがとうございました。

平成23年度 役員研修会報告

(社) 埼玉県放射線技師会
副会長 橋本 里見

平成23年11月22日(火)、大宮ソニックシティ会議室において、平成23年度役員研修会を開催した。理事に各委員会委員と地区役員を加え、総勢27名が参加し「技師会活動について」をテーマとして、参加者全員で討論会を行った。講師(理事)3名がそれぞれ技師会活動についての意見を発表し、その内容から論点を見出し討論した。田中常任理事は技師会活動のメリット・デメリットについて、矢崎理事は地区理事の立場から地区会活動について、佐々木理事は技師会の位置づけと今後の活動について、各々意見を述べた。

発表後の討論会では、特に役員として技師会活動を行う上でのデメリットと職場の理解について活発な討論を行った。新執行部として約8カ月が経過したが、講義や討論会を通じて公益法人組織の役員としての目的を共有し、県民と会員のための法人であることを常に意識し、今後の会務に繋げていきたい。

また、役員受諾について職場の理解が得られないということが、少なからずあるという点も指摘され、執行部として技師会事業運営方法の見直しを検討する必要性を感じた。

今後、本会が発展し続けるには理事候補者として有能な人材の発掘が必須である。理事の負担を軽減した会の運営を模索しつつ、役員研修は継続していきたい。

総務委員会常任理事 芦葉 弘志

今回の役員研修会は、「技師会活動について」という演題の基に行った。開催側として、事前に次の点を演者と打ち合わせした。

講義内容

1. 施設案内 施設規模、施設母体、病院理念や施設についてのアピール
2. 自己紹介 技師学校卒業からの略歴など、認定資格、専門モダリティ、院内委員会、所属学会
3. 技師会活動
 - (ア) 技師会活動のきっかけ
 - (イ) 技師会に対する自分自身の考え
 - (ウ) 技師会活動での苦勞した点、良かった点
 - (エ) 技師会活動から得た職場でのメリット・デメリット
 - (オ) 印象に残る行事
 - (カ) 感銘を与えた先輩や後輩
 - (キ) その他
4. 今後の技師会に期待すること、行ってみたいこと、展望
5. その他訴えたいことがあれば自由に作成

各演者の講演は、大変興味深いエピソードが多く、今後の技師会活動をする上での見聞が広がった。また会場には管理職の方々が多く出席していたため、討論時に「技師会活動と職場」について意見をうかがう事が出来た。こちら会場でしか聞けない貴重な意見の数々であった。なお、参加者については以下の通りである。今後とも継続開催の事業として、充実した研修会を行っていきたい。

出席者(敬称略)

小川 清	堀江 好一	橋本 里見	結城 朋子	田中 宏	芦葉 弘志	潮田 陽一
富田 博信	中村 正之	栗田 幸喜	今出 克利	佐々木 健	星野 弘	大西 圭一
庭田 清隆	矢崎 一郎	石川 直哉	尾形 智幸	大森 正司	横山 寛	越沼 沙織
岡田 智子	城處 洋輔	清水 邦昭	宮崎 雄二	志田 智樹	志藤 正和	

平成23年度 MRI基礎講習会開催報告

(社) 埼玉県放射線技師会
 学術委員会理事 栗田 幸喜

平成23年11月5日(土)、26日(土)の2日間にわたり、さいたま赤十字病院で行われた平成23年度MRI基礎講習会が無事終了しました。

今回の基礎講習会は埼玉県放射線技師会とSAITAMA MRI Conference (SMC) との合同企画として開催され、初日は35名、2日目は24名と会員・非会員合わせて多数の方に受講していただきました。内容および講師は以下の通りです。

平成23年11月5日(土)

基礎講座 (1) 「緩和とコントラスト」	埼玉医科大学病院	平野 雅弥
性能評価 (1) 「T1値・T2値の測定」	済生会川口総合病院	浜野 洋平
性能評価 (2) 「スライス厚の測定」	さいたま市立病院	藤田 功

平成23年11月26日(土)

基礎講座 (2) 「パラメータと画質」	済生会栗橋病院	栗田 幸喜
性能評価 (3) 「SNRの測定」	獨協医科大学越谷病院	宿谷 俊郎
性能評価 (4) 「均一性の測定」	済生会栗橋病院	渡邊 城大

今回の講習会は『MRIの基礎講座』と、磁気共鳴専門技術者認定試験に必要な『性能評価試験』について、専門技術者に認定された講師の方々を中心にご講演していただきました。

磁気共鳴専門技術者認定試験における性能評価試験は、MR装置のメーカーにより測定困難な試験や、測定用ファントムを自作する必要があるなど簡単にいかない場合があります。講師の方々には、メーカー間の違いや工夫する点などについて詳しくお話していただきました。講演の後半は、事前に用意した測定データを使用して受講者の方に測定データの計算・処理を実際に行っていただきました。また受講者の方には、自施設での測定の参考となるように、測定原理や測定方法をまとめたテキストを配布しました。

最終日に実施したアンケート調査から、『MRI初心者の自分にとって基礎講座はとても分かりやすかった』、『自施設のMR装置の測定法や癖などが理解できた』など有り難い意見をいただきました。半面『会場のスライドが見えづらい』、『開催日は平日のほうが参加しやすかった』など今後の活動に参考となる意見もいただきました。

最後になりますが、ご講演していただいた講師の皆さま、会場準備にご協力いただいた埼玉県放射線技師会の皆さま、および講習会に参加していただいた受講者の皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。(講師代表：浜野洋平)

彩の国いきいきフェスティバル参加報告

(社) 埼玉県放射線技師会
公益委員会理事 星野 弘

平成23年11月6日(日)、伊奈町の埼玉県民活動総合センターにて、「彩の国いきいきフェスティバル」が開催されました。今年で10回目を迎えたこのイベントに、(社) 埼玉県放射線技師会として初めて参加しました。当日は雨模様でしたが、18,000人を超える来場者があり大変賑わっていました。

このイベントは、県内で活動している団体が参加し、日頃の成果を発表します。参加団体は100を超え、蕎麦打ち実演販売や茶道の体験、道化師によるパントマイムや紙芝居などが行われていました。また車(Formula 3000)の展示や移動水族館などもあり、お子様からお年寄りまで世代を超えて楽しんでいました。

私たちの活動内容としては、超音波骨密度測定、放射線被ばく相談やパネル展示による医療画像展を行いました。骨密度測定をされた方は225名、放射線被ばく相談は1名でした。来場された県民の皆さまに、私たち診療放射線技師の仕事内容や地域での公益活動、また健康診断を定期的に受診することの重要性をパネルや小冊子を使用してアピールしてまいりました。

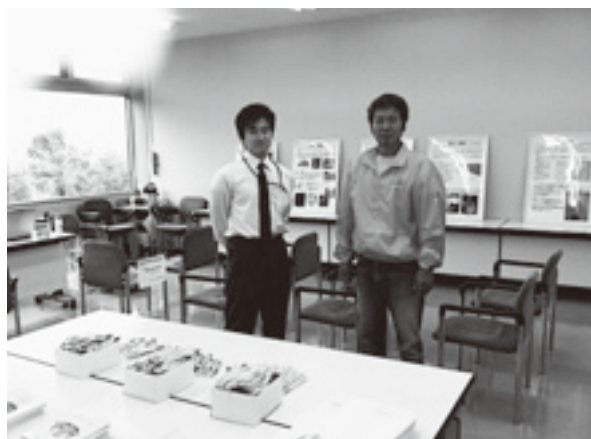
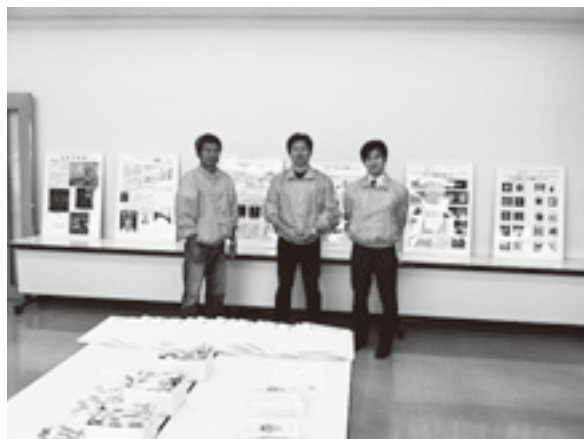
最後になりますが、私たち(社) 埼玉県放射線技師会は、会員の皆さまのお力を得て、これからも公益法人として公益業務を拡充するとともに、県民の皆さまが安心して放射線検査を受けられる様に、このようなイベントに積極的に参加し啓発していきたいと考えます。



会場の様子



(社) 埼玉県放射線技師会のブース



(社) 埼玉県放射線技師会のブース



会場の様子



会場の様子



美味しい!

平成23年度 第10回胸部認定講習会報告

(社) 埼玉県放射線技師会
 学術委員会理事 佐々木 健

平成23年12月4日に、第10回胸部認定講習会が終了しました。今年度は2日間で行っていた講習会を1日開催とし、2日目終了後に行っていた認定試験を、他の埼玉県放射線技師会認定と同日開催する事とし、受講者の負担軽減を図りました。

講習会参加人数は37名、県外からの参加者も2名おり、一般撮影の基礎である胸部単純撮影と、厚生労働省医政局長通達にもある読影の補助に対する関心の高さが見受けられました。

内容と講師は以下の通り

・胸部単純写真の撮影法	北里研究所メディカルセンター病院	小林 剛
・装置の基礎	株式会社島津製作所	高濱 公大
・胸部単純撮影の臨床と読影	なかた呼吸器内科クリニック	中田 正幸
・デジタルの基礎	キャノンマーケティングジャパン株式会社	向笠 恭司
・胸部のCT診断	羽生総合病院	染野 智弘
・診療放射線技師に必要な胸部単純撮影の読影 (初級編)	埼玉県立小児医療センター	田中 宏 (敬称略)

撮影方法、読影だけでなく機器特性や画像の成り立ちまで、診療放射線技師に必須の基本的技術論から臨床的な知識まで網羅されており、若い診療放射線技師からだけでなく中堅以上の方も振り返りという意味でも大変好評でありました。



講習会風景

講師もベテランの方々であり、当日は大きな問題もなく終える事ができました。ご協力頂いた方々には大変感謝しております。

認定試験は2月26日(日) 16:00~18:00、場所をさいたま赤十字病院に移して開催します。多くの認定者が出る事を願っています。

平成23年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会参加報告

(社) 埼玉県放射線技師会

編集・情報委員会常任理事 潮田 陽一

平成23年10月15日～16日、コラニー文化ホール（旧山梨県立県民文化ホール）にて、平成23年度関東甲信越診療放射線技師学術大会が開催された。

本会会員のシンポジストや演題も多く、大変盛況な学術大会であった。

特別講演Ⅰでは、社団法人日本放射線技師会副会長である 小川 清 本会会長が「技師会活動の見える化」と題し、造影剤注射針抜針などのグレーゾーン明確化や、レントゲン週間開催といった国民へのPR活動など、現在日本放射線技師会が取り組んでいる事業について、どこよりも早く公に講演を行った。

今回は福島第一原子力発電所事故発生後に開催された学術大会という事もあり、放射線被ばくへの関心が特に高く、NHKのデータ放送で今大会の開催が報道されるなど、今までとは違う雰囲気が感じられた。

その中で、特別講演Ⅱとして本会会員の 諸澄 邦彦 氏（日本放射線公衆安全学会会長）が、「福島原発事故による放射線被ばくを考える」と題し、講演を行った。第27回埼玉放射線学術大会においては、『「福島原発事故による放射線被ばくとその影響」—診療放射線技師の取り組み—』と題した諸澄氏の特別講演が予定されており、市民にも分かりやすい講演が聴けるものと思われる。

なお今回のプログラムは下記の通りである。

次回は栃木県にて、「日本の今、医療界の今、そして未来へ」のテーマで開催が予定されている。診療放射線技師を取り囲む日本と医療界の現状を見つめ、将来・未来に向けて、今必要なもの、足りないもの、そして学ぶべきものを見つける大会を目指すとのことであり、こちらも今から期待が持てる。

平成23年度関東甲信越診療放射線技師学術大会プログラム

10月15日	受付 大ホール前 参加登録 PC受付	第一会場 大ホール (1階)	第二会場 小ホール (1階)	第三会場 会議室 (3階)	機器展示 大ホール ホワイレ	情報交換会場 ロイヤルガーデンホテル
9:00						
9:30		教育セミナー1 大抵 基幹 「放射線測定器の基礎と応用」 サーベイメータの特性について	一般演題 (1) MRI検査 (1)	一般演題 (6) 腫瘍学	機器展示準備	
10:00		教育セミナー2 中田 裕正 「正しい放射線計測の実践」 サーベイメータの測定法	一般演題 (2) X線CT検査 (1)	一般演題 (7) 医療画像・モニタ		
11:00		教育セミナー3 濱田 順理 「原子力災害時における サーベイメータの使用法」 日本放射線技師会第1次放射線 サーベイメータ演習録の報告から	一般演題 (3) X線CT検査 (2)	一般演題 (8) 放射線管理、他		
11:30						
11:50						
12:00						
12:30						
13:00		開会式				
13:30		特別講演Ⅰ 小川 清 「技師会活動の見える化」			機器展示 10:00～17:00	
14:00			教育講演 小日 宏 「世界から見た 放射線治療の安全性」 近年の動向と日本の今後	一般演題 (9) 放射線測定・管理		
14:30				一般演題 (10) 公衆安全		
15:00		シンポジウムⅠ 「日常業務に潜む危険」 もう一度から見直す 安全・安心の医療	一般演題 (4) MRI検査 (2)	一般演題 (11) 放射線治療 (1)		
15:30				一般演題 (12) 放射線治療 (2)		
16:00			X線透視検査・乳房撮影			
16:30						
17:00		特別講演Ⅱ 諸澄 邦彦 「福島原発事故による 放射線被ばくを考える」				
17:30						
						情報交換会 18:00～20:00

10月16日	受付 大ホール前 PC受付	第一会場 大ホール (1階)	第二会場 小ホール (1階)	第三会場 会議室 (3階)	機器展示 大ホール ホワイレ
8:30					
9:00			一般演題 (13) X線CT検査 (3)	一般演題 (15) MRI検査 (3)	
9:30		市民公開講演 保田 浩志 「放射線被ばくの健康影響」 100ミリシーベルトは安全か	一般演題 (14) 表示装置、他	一般演題 (16) MRI検査 (4)	機器展示
10:00					
10:30					
11:00		市民公開講座 高橋 真理子 「宙(そら)みて、いのちを思う」 人をつなぐ星、自分みつめる星	シンポジウムⅡ 「医療被ばく低減施設 認定に向けて」 今、我々に求められる 安全性と役割	一般演題 (17) FPD・血管造影 リスクマネージメント	
11:30					
12:00					
12:30		閉会式			

第71回日本放射線技師会定期総会報告

(社) 埼玉県放射線技師会
副会長 橋本 里見

平成23年12月11日(日)に第71回社団法人日本放射線技師会臨時総会が、東京都港区の笹川記念会館国際ホールにて開催された。

はじめに、小川副会長の開会の辞、次に中澤会長の挨拶が行われた。

会長は、東日本大震災における社団法人日本放射線技師会の取り組み、チーム医療推進会議に対する取り組み、技師法改正についての3項目について述べた。東日本大震災については、避難者に対する放射線サーベイヤーと、検案前のご遺体に対するサーベイヤーを派遣し、福島第一原発事故への協力を行ってきたことを報告した。また福島第一原発内診療所へ、診療放射線技師の派遣を継続して行っていることを報告した。さらに今後の活動方法について検討を行っていることを述べた。チーム医療推進会議に関しては、現在業務がクロスオーバーする領域に対し、厚生労働省と話し合いを続けており、良い方向に進んでいることを報告した。また技師法改正については数年かけて検討して行くと述べた。

次に、資格審査委員会・総会運営委員会委員長が、代議員の出席と委任状の確認がされたことを報告した。宮崎県放射線技師会の紫垣氏と広島県放射線技師会の木口氏が議長に立候補者し、議長資格を満たしており立候補者であり、立候補が2名だったことから議長として選任された。

続いて紫垣議長が総会職員候補者を読み上げ提案し、挙手による賛成多数の結果、議事に入った。今回の臨時総会は2部制となっており、第1部の解散準備総会から議事がはじまった。

解散準備総会第1号議案の「社団法人日本放射線技師会の解散について」では、中澤会長が提案理由である、公益社団法人への移行申請について述べた。質問がなく採決に入り賛成多数で承認された。

設立準備総会の第1号議案の「公益社団法人日本放射線技師会の設立について」では、中澤会長が提案理由の移行登記について述べた。質疑応答では、大阪府放射線技師会の代議員から名称に「診療」を付けるか否かについて質問をし、中澤会長が今回の申請では付けず、来年の定期総会で名称変更を予定していると回答した。続いて採決に入り賛成多数で承認された。

第2号議案の「公益社団法人日本放射線技師会の「定款」ならびに「諸規程」の一部変更について」では、大塚常務理事が、内閣府からの指導により、定款ならびに役員報酬規程の一部を変更したと報告した。

第3号議案の「公益社団法人日本放射線技師会の理事の選任について」では、理事定数22名以上25名以内(外部理事3名以内)の規定に沿って25名の理事就任を提案した。

第4号議案の「公益社団法人日本放射線技師会の監事の選任について」では、会員幹事候補の福岡県放射線技師会所属 新開英秀氏を提案した。

第5号議案の「公益社団法人日本放射線技師会の会計監査人の選任について」では、監査候補者に大光監査法人の亀岡保夫氏を提案した。

第2号議案から5号議案までに質疑はなく、賛成多数により全て承認された。

最後に、井戸副会長による閉会の辞で、第71回臨時総会が終了した。

この臨時総会において全ての議事が承認されたことにより、日本放射線技師会は公益社団法人化に向かうこととなる。今後における日本放射線技師会の、公益法人としての更なる発展を予想させる総会であったと感じた。



中澤会長挨拶



総会開催中



第28回診療放射線技師
学術大会開催案内 (愛知県)

第一地区**報 告**

1. 第1回地区勉強会

日 時：平成23年10月14日（金） 18：45～

場 所：コムナーレ浦和10階（浦和パルコ）第13集会室

参加費：無料

参加者：59人

内 容：日本放射線技師会から認定技師について 富田 博信

小児X線撮影 ～頭部から腹部～

メーカー講演：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

CT 最新CT装置 ～逐次近似再構成と小児撮影～

紫藤 尚利 氏

FPD 一般撮影とDual Energy ～小児撮影には～

阿久津 拓光 氏

施設発表：さいたま市立病院 三橋 則行

川口市立医療センター 千代岡 直也

埼玉社会保険病院 小林 靖雄

済生会川口総合病院 土田 拓治

アンケート結果発表（第一地区会員施設へアンケートを実施済み）

さいたま市立病院 双木 邦博

ディスカッション



勉強会

2. 浦和区健康まつり ～心と体の健康フェスタ～

日 時：平成23年11月20日（日） 10：00～16：00

場 所：さいたま市市民活動サポートセンター
 コムナーレ浦和9F

来場者数：約3000人

参加事業：「無料の超音波式骨密度測定、放射線検査の啓発・説明」

参加者：15人

骨密度測定：288人

医療被ばく相談：4人



3. 今後の予定

平成23年度第一地区決算総会

日 時：平成24年2月22日（水） 18：45～19：15

場 所：コムナーレ浦和9階（浦和パルコ）第15集会室

第二地区



「所沢市健康まつり」に参加して

所沢市市民医療センター 中邑 友香

平成23年11月13日（日）、所沢市保健センターにて「所沢市健康まつり」が開催された。天気は晴れ、気温は温暖、地域市民の方が参加するのにちょうどよい天候となった。所沢市健康まつりは毎年参加しているが、今年は役員だけでなく地域の技師も参加して盛大に行われた。

毎年大人気の骨密度体験測定に加え、今年は子供用ゲームも新しくなり、所沢市のイメージマスコット「トコロん」も参加しての健康まつりとなった。

来場者数は、全体で1463名。昨年は1171名、一昨年は800名なので、年々人気が高まっていることが分かる。

骨密度測定の参加者は、今年は215名であった。こちらは、前回の350名に比べて少なくなっているが、開始時間が午後からに変更になったことが原因だと思われる。

第二地区では、この健康まつりに今年で13年連続で参加をしているが、毎回市民の皆さまから骨密度測定の要望が多く、また普段の診察や検査の時には聞きにくいことも、このような場では気軽に質問することができること好評であった。

今年は子供にも楽しんでもらおうと、所沢市から着ぐるみを借りるという試みも行った。着ぐるみは子供たちに大人気で、何度も記念撮影を頼まれた。いつもより、放射線ブースは明るい笑い声が多かったように思った。

最後に、運営に携わった役員はじめ地区会員の皆さま、その他の技師の皆さま、本当にお疲れ様でした。

＜実行委員＞

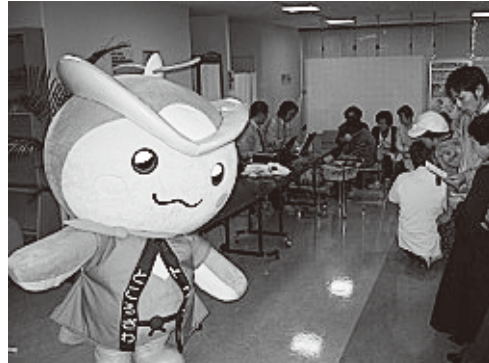
大西圭一（所沢ハートセンター）	千田俊秀（所沢市市民医療センター）
梶野恒三（所沢市市民医療センター）	中邑友香（所沢市市民医療センター）
安保靖彦（所沢市保健センター）	
宮野博希（入間市保健センター）	
鈴木蔵九（所沢PET画像診断クリニック）	
藤井大悟（石心会狭山病院）	
柴 俊幸（所沢ハートセンター）	
磯田一巳（所沢市市民医療センター）	
前田有弘（所沢市市民医療センター）	
吉澤康宏（圏央所沢病院）	





バザーやカレーや豚汁、
ケーキなどの販売もあります

ここが
放射線ブース！



サッカーチャレンジ
ゲーム、意外と難しいです(^_^)



2地区のみんなで
パチリ

顔出しちゃって
いいのかな・・・



第2回勉強会開催報告

開催日時：平成23年10月20日（木）18：30～20：30

開催場所：所沢市保健センター3F 会議室

参加人数：102名

1. 製品紹介座長集約

「マンモグラフィ用画像診断システム NEOVISTA I-PACS CAD TypeM」

コニカミノルタヘルスケア株式会社 鳥居 大樹

座長 原田病院 瀧澤 誠

日本では2000年からマンモグラフィ検診が導入され、この10年間にマンモグラフィの撮影技術、読影技術や機器の大きな進歩がみられる。今回は、画像診断システムの最新モデルの紹介であった。

マンモビューアに必要とされるものとして、高速表示、高速画像処理、比較読影表示、などを兼ね備えている。NEOVISTA I-PACS CAD TypeMの特徴は以下の4つ。

- 1) PCM画像やCプレート画像に最適な独自のアルゴリズムの搭載
- 2) 検出特性やアルゴリズムを説明しやすい設計
- 3) 微小石灰化の検出感度を上げることに成功
- 4) 検出候補を線で囲むマーキング表示を採用

これらの特徴は、検出結果の信頼性向上や所見見落としのストレス軽減など読影にやさしいシステムと使いやすさを両立させた機種との紹介であった。

2. 一般研究発表座長集約

「マンモCADの画像処理」

コニカミノルタエムジー株式会社 太田 恵理

座長 原田病院 瀧澤 誠

腫瘍陰影では、濃度及びスピキュラを、微小石灰化では、明点がクラスタを形成しているところを検出対象としている。検出のアルゴリズムとして、前処理、1次検出、偽陽性の削除を行いCAD結果の出力をしている。CADを効果的に使用するために、精度管理された撮影画像、高い読影能力、CADの検出特性を理解することが上げられる。現在運用されている施設において、CAD検出率は80%以上とのことであった。

いかに読影医と調和できるかがCADのポイントとなるとの報告であった。

「被ばく相談の取り組み」

朝霞厚生病院 天谷 秀正

座長 医療法人 永仁会 所沢PET画像診断クリニック 鈴木 蔵九

天谷氏による『被ばく相談の取り組み』の研究発表は、実際に病院で行なわれている被ばく相談の取り組みについてであった。

まず、2011年3月11日以降で、相談内容ががらりと変わってきたことについて触れられた。『震災による原発事故』の相談について含まれてきたこと、『放射線に対する過剰なまでの拒否・拒絶反応』など様々である。そこで天谷氏は、院内での相談の流れを見直した。

まず、原発事故についての政府発表・報道内容をよりわかり易く揭示し、実際の検査との比較、揭示する。また、震災前は、①被ばく相談のお知らせを院内に揭示→②被ばく相談カードに相談内容を記入→③相談対応。(郵送や電話での対応も可能。)の相談フローであったが、震災後は、被ばくに対する具体的な不安よりも、漠然とした不安をかかえる相談が急増。相談者が何に不安を感じているかをより理解するために、電話や郵送での対応をやめ、被ばくカードを廃止し、一人ひとり顔を見ながらの対応に切り替えた。

相談の流れについては、①訴えを聞く、②撮影によるものであれば、具体的線量を提示、③自然放射線について、④それぞれの相談者に対応した結果説明の順に対応されている。また、今までの相談に対し、ふれていなかった①確定的影響の閾値、②内部被ばく(食物を含む)について、③確率的影響について、④胎内被ばくについて、相談者に説明をすることでより理解を深めてもらうことに努めていることである。

さらに単位については、『GyやBqが混在するよりも、Svに統一することで相談者によりよく理解をしてもらう事が重要』と考えられている。会場内からは、『単位の統一について』の質問の声も上げられた。装置メーカーやモダリティー、検査内容において被ばく線量の考え方が異なる以上避けられない。

各種学会や関係各省庁により、対応がばらばらで、マスコミ各社による過熱報道などにより、国民が振り回され、恐怖感をあおられ、それでも放射線検査を受けなければいけない状況での相談である。

放射線防護の基本である『正当化』『最適化』『線量限度』をもとに、放射線の有効利用(医療被ばく)が、相談者にとって必ず利益になることを理解してもらい、相談者の関心や不安、知識レベルに合わせた形で、診療放射線技師・放射線管理士として相談に取り組んでいくことの重要性を発表された。

本来なら、診療放射線技師として答えるべき相談は、『医療被ばく』についてのみである。

しかし、相談者は『被ばく』=『原爆・原発事故』=『放射線』なのである。相談者にとっては、命懸けの相談であることを私達診療放射線技師・放射線管理士は、理解した上で相談に回答しなければならない時代になった。

「64列MDCTにおけるCTCAでの最適心位相検索機能の評価」

所沢ハートセンター 柴 俊幸

座長 医療法人 永仁会 所沢PET画像診断クリニック 鈴木 蔵九

柴氏による『64列MDCTにおけるCTCAでの最適心位相検索機能の評価』の研究発表は、循環器領域での冠動脈CTの有用性が高まり、検査件数が増加しているなかで、経験と時間に左右される画像処理時間・精度の検証を最適心位相検索（PhaseNAVI）の導入でワークフローの効率化がなされるのかを検証された。

PhaseNAVI導入前の最適心位相検索方法をマニュアル法とし、LMT、RCA、#2distalの3断面について相対時間1%間隔で再構成し妥協点を採用。評価方法は、マニュアル法を基準とし、PhaseNAVIで得られた画像と比較、診断能の相違が生じない割合を検討。（PhaseNAVIは相対時間に変換後に比較）

①心拍数 ②心拍変動による精度検証を行う ③PhaseNAVI、マニュアル法それぞれの撮像終了後からワークステーション作業目での時間の比較。

PhaseNAVIの部位別最適位相選択率は、冠動脈全体で85.7%、LMTで96.8%、RCA#2distalで88.9%となった。

①心拍数別最適心位相選択率は、HR70～79（bpm）66.0%を除いて80%以上の選択率となった。

②心拍変動（maxR-R）－（minR-R）については、変動301～350（msec）で75.0%、401≤で66.7%となり、それ以外の変動では80%以上の選択率となった。

③撮像から再構成までの時間の比較では、マニュアル法で8分53秒、PhaseNAVIでは4分47秒であった。

考察では、HR60bpm以上で精度が低下した要因は、選択できる拡張中期の範囲が狭まり検索が困難になる領域であり、HR70bpm以上の症例では、最適心位相として選択できる範囲が狭く十分な時間分解能が得られない、HR65bpm以下で75%を選択せず最適位相選択ができないなどの問題があることを検証されていた。また、今回得られた結果から柴氏は、被ばく低減の可能性まで見出されているところはさすがである。

診療放射線技師の日常業務が多くなりつつある現代では、処理の自動化に頼らざるを得ないことが多い。しかし、100%自動処理が可能ではないことを、柴氏は問題提起し考察されている。それらを念頭において我々診療放射線技師は日々の業務に向き合わなければならないことを再認識させられた発表であった。

3. 「各施設のMRIルーチン検査について（脳神経領域）」座長集約

座長 埼玉医科大学国際医療センター 桜井 靖雄

このセクションでは4施設の先生方に、脳神経領域におけるMRI検査のルーチンについて講演を頂いた。「ルーチン検査」といっても、それぞれの施設の役割や考え方で内容が違ってくるものである。

それぞれの立場での講演を公聴することができた。

大生病院の清水 慧先生からは、長期療養型病院としてのルーチンの考え方の話であった。

長期療養型の病院ということで、やはり高齢者を対象にした検査依頼が多い。

その中で、「検査拒否傾向が強い患者さんや記憶障害の傾向が強い患者さん、また不安感の強い患者さんなどに対してどのように対応するか」をお話し頂いた。また、体位固定のコツについては、ポリネット様の固定具で頸部を固定することにより体動抑制に効果があるとのことであった。

遠山脳神経外科の西田 大志先生からは、脳神経の専門病院としての立場での講演であり、シーケンス（画質）改善する時の考え方や方法をお教え頂いた。

撮像時間の短縮には、MRIの撮像原理や使用している機器の性能を熟知し、シーケンスを組み立てる事が大切であるとのことであった。

また急患ルーチンとして、「DWIとFLAIR画像」の撮像を推奨されていた。

急性期の脳梗塞はDWIやADC画像で診断し、脳出血や脳腫瘍はFLAIR画像で診断する。まずこの2シーケンスを撮像し、その後で追加シーケンスを考慮すればよろしいのではないかということであった。

脳神経を専門に診察している病院であり、説得力のある講演であった。

所沢PET画像診断クリニックの鈴木 蔵九先生からは、検診センターとして注意する事、検査の組み立て方やその考え方など、臨床画像を提示しながら講演頂いた。

検診センターとして一番大切なことは、「病気を見つける」事である。

近隣の病院から依頼されるMRI検査で病気の見逃しは絶対にしてはならない。

その為には病気の知識が求められる。例えば物忘れ・認知症・健忘症の患者さんのときはT1-WIの冠状断撮像で海馬近傍の観察をする。頭痛・高血圧・血管腫疑のときは、T2*やSWIを追加撮像するなど、病気を理解し撮像シーケンスを決定する必要があることを強調されていた。患者さんそれぞれで症状も違う、ルーチン検査といっても疑っている病気によって、シーケンスを選択する必要がある。

そのような意味合いで「脱ルーチン検査を！」と締めくくっていた。

石心会狭山病院の上野 浩輝先生からは、「限られた検査時間の中で最高の画質を得る」「限られた時間の中で検査件数の増加」という総合病院として、どの施設でも当てはまるテーマを講演頂いた。

周知のとおり、MRIの検査ではSNR・撮像時間・空間分解能のバランスを考慮してパラメーターを設定しなければならない。必要なシーケンスには時間をかけるなど、検査内容にメリハリをつける必要があるのではないかと。

結果、スループットが向上し検査件数増加につながっていく。

限られた時間の中で、効率よく情報量の多い画像を提供するためには、患者さんの目的とする病態やMRIのシーケンスの理解が不可欠であり、疾患別にシーケンスを考慮する必要もあるのではないかと。

「聴神経腫瘍には3mm厚のスライスで撮像し、CISSシーケンスを追加する」など・・・

また、病態診断をするときの考え方をお教え頂いた。得られた画像所見から幾つかの鑑別診断を挙げ、1つずつ消去していき最終診断を決定する。臨床画像では、あまり見ることのない症例を提示、説明して頂いた。

今回の勉強会に参加して頂いた会員が、所属施設のルーチン検査シーケンスの見直しを行うきっかけになれば幸いである。自分の施設では、「何をするのが役割なのか」を考えてシーケンスを組み立ててほしい。

最後に、このような機会を与えていただいた 所沢ハートセンター 放射線科 大西 圭一様に感謝致します。



第二地区から学術大会参加のお願い

平成24年3月11日、第27回埼玉放射線学術大会開催が予定されております。

年々その参加者は減少傾向にあり、第二地区会も例外ではありません。

第二地区役員はまず地区会からの参加、発表を促すことで学術大会及び県技師会の活性化を目指しており、より一層会員様の協力が必要不可欠になると考えております。

一部ではありますが、第二地区会員施設として以下のような演題発表を行う予定です。他の会員様にもぜひ参加していただきますようよろしくお願い申し上げます。

本年度の学術大会をきっかけとし、今後更なる埼玉県放射線技師会の発展を目指し、有意義な会とするためにご協力よろしくお願いいたします。

第2地区施設発表演題

「冠動脈CTにおいて焦点サイズ及び再構成関数が画質に及ぼす影響について」

所沢ハートセンター 柴 俊幸

「ランジオロール塩酸塩静注による冠動脈CTの初期使用経験について」

所沢ハートセンター 柴 俊幸

「64列CT使用報告」

間柴病院 中村 雄幸

「当院CT骨密度検査の補正検討」

国立障害者リハビリテーションセンター 肥沼 武司

「アンケート調査による震災時の把握（埼玉県放射線技師会第二地区）」

原田病院 瀧澤 誠

「当クリニックの部位別被ばく線量-DLPより算出-」

所沢PET画像診断センター 白木 定成

「当クリニックにおけるPET/CT画像評価」

所沢PET画像診断センター 島崎 滋

「当院の計画停電対応について-PET/CT編-」

所沢PET画像診断センター 島崎 滋

近年の学術大会参加者人数

	学術大会参加者	第二地区参加者
平成20年度	192名	19名 (9.8%)
平成21年度	164名	5名 (3%)

本年度学術大会の第二地区会からの参加人数は50名を目標としています。

多数のご参加お待ちしております。

第三地区

第三地区会だより

第三地区理事 庭田 清隆

(1) 平成 23 年度 第三地区ボウリング大会開催報告

日 時 平成 23 年 10 月 27 日 (木) 19:00~21:00

場 所 川越ボウリングセンター

参加者 30 名

スポーツの秋、今年も第三地区ボウリング大会の開催となりました。

参加者 30 名が、日頃の運動不足解消を目的か、ストレス発散か、はたまた別の目的か、思い思いに楽しみ、大盛況の内に開催することが出来ました。写真からもわかるようにフレッシュで活気溢れるボウリング大会となったことは言うまでもありません。

今後の活躍を期待します。



(2) 第 25 回川越市健康まつり あなたのための医療画像展開催報告

日 時 平成 23 年 11 月 6 日 日曜日 8:30~15:30

場 所 川越市総合保健センター 乳房及び胸部 X 線撮影室

参加者 15 名 (協力メーカー5 名を含む)

回覧者 735 人 (川越市健康まつり総来場者数 3,654 人)

平成 23 年 11 月 6 日 日曜日、川越市総合保健センターで行われた、川越市健康まつりに参加させていただき“あなたのための医療画像展”を開催いたしました。

開催当日、曇り空の中、雨が降らないことを祈りつつ会場へ向かいました。幸いにも健

康まつり開催中は雨が降ることもなく、たくさんの来場者を迎えることが出来ました。市民の健康への関心の高さを直に感じるイベントでした。

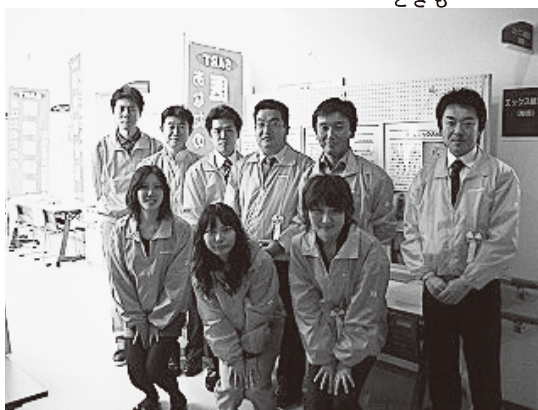
医療画像展では、放射線をはじめとした画像診断（検査）を理解していただくため、単純X線、CT検査など計15枚のパネルを展示、また、協力メーカー2社によるワークショップのデモを開催。最新の画像処理システムによる3D画像は、回覧された方々に好評で、画像診断に関心を持っていただく絶好の機会にあったと思います。

来年、参加していただける方を心よりお待ちしております。



川越市マスコットキャラクター

ときも



(3) 第2回 第三地区 勉強会開催報告

日時 平成23年11月24日 木曜日 19:00～21:00

場所 埼玉医科大学国際医療センター C棟2階会議室

参加者 41名

内容

- 福島第一原発事故のサーベイヤーの経験
埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部 伊勢谷 修
- 当院における放射性医薬品の取り扱い～小児過剰投与を背景として～
埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部 高橋 強悦
- 当院における定位放射線治療について
埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部 宮原 貴之



(4) 今後の予定

- ア. 新年会（平成24年1月7日）
- イ. 第3回 第三地区 勉強会開催（平成24年3月22日）
- ウ. 第3回 役員会開催（平成24年3月22日）
- エ. 平成23年度 第三地区 定期総会（平成24年3月22日）

<http://www.sart.jp/member2005/> **第三地区**

第四地区

深谷市福祉健康まつり参加報告

埼玉県放射線技師会第四地区は、平成23年11月13日（日）に行われた深谷市福祉健康まつりに参加しました。毎年、深谷ビクターホールで開催されているイベントでしたが、今年は深谷市で生まれ「日本資本主義の父」と言われた渋沢栄一没後80周年ということで、開催場所を深谷市城址公園に変え盛大に行われました。また、渋沢栄一シンポジウム・産業祭・青淵まつりも同時開催されたこともあって、たくさんの市民の方に来場していただきました。

第四地区では毎年恒例となっている「パネル展示」・「骨密度測定」・「ヨーヨー釣り」に加え、コニカミノルタヘルスケア（株）様のご協力で「ワークステーション展示」・「血中酸素濃度測定」を行いました。また、市民の方々の被ばくに関する疑問や不安に応えるため、放射線管理士の新井 偉生氏に協力いただき、被ばく相談コーナーを設けました。来場者数は309名で例年に比べたくさんの方に来ていただくことができました。

今後も第四地区では継続して福祉健康祭りに参加し、診療放射線技師という職業や技師会の活動について知っていただけるように努力していきたいと思っております。実行委員のみなさん、お疲れ様でした。



骨密度測定



パネル展示



ワークステーション展示



血中酸素濃度測定



ヨーヨー釣り



深谷市福祉健康まつり実行委員

会員名	施設名	会員名	施設名
山田 伸 司	小川赤十字病院	清 水 浩 和	熊谷総合病院
田 中 達 也	小川赤十字病院	吉 田 敦	熊谷総合病院
長谷川 英 治	羽生総合病院	萩 原 貴 之	行田中央病院
大 野 涉	羽生総合病院	齋 藤 幸 夫	深谷赤十字病院
山 崎 由紀敏	東松山市民病院	小 林 茂 幸	深谷赤十字病院
新 井 偉 生	東松山市民病院		

第五地区



第五地区



地区勉強会

平成 24 年 2 月に開催予定です。
詳細は後日ご連絡をいたします。
(今回は病院見学を予定しています。)
勉強会やその他の行事は HP などのご案内します。
いつもご案内が遅くなりお詫びいたします。



越谷市民祭りに参加し、医療画像展を開催いたしました。

例年通りにたくさんのかたにご来場いただきました。



越谷市民祭り（医療画像展）に参加して

第五地区担当理事 矢崎 一郎

前日の雨もあがり最高気温26度の夏日となった10月24日、第37回 越谷市民祭りが開催されました。今年の越谷市民祭りは、「安全・調和・明るい街づくり」を基調にパレードやアトラクション、多数の模擬店などをイベントとして20万人の人出でにぎわっていました。越谷市の人口も32万9千人を超え、中核都市への準備を進めているそうです。越谷駅前の再開発では、越谷ステーションタワー（完成時29階建）の建設も地上20階まで進み、昨年と比べると駅前の環境も大きく変わっていました。また、パレード答礼台には、『がんばろう！日本』の横断幕が飾られ、未曾有の東日本大震災への復興支援にもエールを送っていました。埼玉県放射線技師会第五地区会も今年で6回目の参加を数えます。恒例となった骨密度測定も381名の方に来場いただき大盛況でした。被ばく相談も医療被ばくと共に福島原発事故関連を含め10件ほどの相談があり、越谷の放射能の汚染状況や風評についての質問もありました。市関係者の話では、放射能測定値が基準値を下回っていても、福島県ということで例年参加していた自然教室や林間学校の会場に理解が得られず、行き先を変更したそうです。原発事故がきっかけでメディアや一般国民が、放射能に関心を持つようになりました。同時にシーベルト（Sv）やベクレル（Bq）という単語を日常的に使うようになった昨今、我々は放射線の専門家としての活躍が求められています。医療画像展を通して診療放射線技師という職種の活動の場を広げ、国民に貢献出来るものでありたいと思っています。



（骨密度測定のタイヘンさばかりが目立たないようになるといいな・・・）

第六地区

発行：埼玉県放射線技師会第六地区会

Lock ON

埼玉県放射線技師会第六地区

1. 第2回定期講習会報告
2. 忘年会報告

2011年12月10日 平成23年度 第4号

平成23年度 第2回定期講習会報告

上尾中央総合病院 伊藤 悠貴

平成23年11月10日、指扇病院で開催された、平成23年度第六地区会第2回定期講習会は、「スペシャリストとゼネラリストの役割」について、レインボークリニック 志田智樹様、上尾中央総合病院 酒井千尋様の講演と、指扇病院の施設見学の内容で開催されました。

スペシャリストとゼネラリストという用語がビジネス界で使われることが多く、スペシャリストとゼネラリストのあり方について医療界でも議論がなされています。

スペシャリストとは、特定の分野に関する深い知識や専門的な技術を持ち、その分野に特化して仕事をする人を示します。ひとつの分野に特化して仕事をするため、単独もしくは少人数で業務に当たる方が、成果が上がることが多いとされます。

スペシャリストの対義語として用いられるゼネラリストとは、特定の分野ではなく複数の専門分野においてある一定以上の知識や技術を持ち、仕事をしていく人を示し、会社の中で様々な仕事を経験しながら自分のキャリアを形成していく人が多いです。分野をまたいで仕事をするため基本的に協力しながら仕事をするのが求められ、自分の仕事以外にも興味を持って業務に取り組む人が多い傾向にあります。

診療放射線技師としてスペシャリストとゼネラリスト、どちらの立場が求められるかは勤めている職場によって異なり、スペシャリストは資格の取得や学術発表など、自分の得意な分野のスキルを伸ばすことなどが考えられ、ゼネラ



リストは幅広い知識や技術を身に付け、オールラウンドにこなしていくことが考えられます。

ただ両者に共通して言えるのは、診療放射線技師としてプロフェッショナルであるということです。患者様の不安を取り除くことはもちろん、安心して検査を行える環境を作るなどの心遣いが必要です。

今回の講演では、スペシャリストとゼネラリスト、両者の講演を聞いたことでそれぞれの視点から診療放射線技師について考えることができ、視野が広がったので貴重な体験になりました。

今回開催会場の指扇病院は、2011年10月1日に新築移転した施設で、埼玉県下初導入の FPD を搭載した SIEMENS 社製一体型 X 線撮影装置 Ysio、64 列 MDCT、1.5TMRI、乳房撮影装置、X 線透視装置、血管撮影装置、ZAI0(血管撮影用)・AZE(CT 用)の 3D ワークステーションが新規に導入されており、それらの説明・見学が体験出来ました。ありがとうございました。



忘年会報告

埼玉県立小児医療センター 北井亜梨沙

平成 23 年度の第六地区忘年会に参加させていただきました。

普段お話する機会のない他施設の会員の方との情報交換や、親睦を深めることができ、私にとって貴重な時間になりました。

今後私も皆さまに負けないように第六地区の発展に貢献していきたいと思えます。

忘年会を催していただいた第六地区会長石川様をはじめ、役員の方々には深く感謝申し上げます。



Lock ON

みんなのカプリッチオ

SARTランニングクラブ通信 川越小江戸マラソン参加

国立障害者リハビリテーションセンター
肥沼 武司

2011年、多くのマラソン大会は東日本大震災の影響により中止が相次いだ。全国の会員有志はサーベイヤー活動のため福島に向かい、病院では計画停電と節電対策。正直マラソンどころではなかった。しかし、夏を越えてからは復興支援を兼ねたマラソン大会が徐々に増えてきた。運営体制が整えば自粛だけでなく、いろいろな支援という形で前に出る行動というのは素晴らしいと思う。自分もできる事から支援をしたいと思う。

さて11月27日（日）、川越市で第2回川越小江戸マラソンが開催された。SARTランニングクラブのメンバーが約1年ぶりに集まり川越の地を走った。昨年、第1回の運営問題点も解消され、今後埼玉県内のマラソン大会で、屈指の人気大会になるのではなかろうか。

今回集まったメンバーは5名。埼玉医大の平野氏と初参加の栗田氏、川口総合の工藤氏、松沢医院の内田氏と著者。レースは見事全員完走、皆でゴールを喜び合った。初ハーフの栗田氏は、いきなり1時間42分と素晴らしいタイムをたたき出して一同を驚かせた。

ゴール後は恒例の補給宴会を行い、ビールと焼肉でゴールの感動を味わいながら大いに盛り上がった。

さて2012年のSARTランニングクラブの活動は、昨年中止となった5月開催、春日部マラソンを計画しています。ゴール後は会場の公園内でBBQを予定しています。是非一緒に走りませんか？



スタート前



補給宴会

SARTランニングクラブメンバー募集

「関心はあるけど1人で大会に出るのはちょっと・・・」という方もチームとして一緒に出場すれば完走の喜びを皆さんで分かち合えること必至です。

趣味の範囲で、以下のゆる～い内容で一緒に楽しく走りませんか？

- 1：練習は各自自主活動
- 2：大会出場の際所属は「SART」と記載
- 3：出場後は走った分のカロリーをビールなどで補給宴会
- 4：連絡窓口（国立リハビリ 肥沼t-koinuma@sart.jp）まで

会員の動向 (平成23年11月30日現在)

平成23年12月7日承認

事由	技師会番号	氏名	施設名	地区
新入会	1340	栗田 栄紀	瀬川病院	4
新入会	1341	郷久 将樹	越谷病院	5
新入会	1342	内田 靖之	久喜総合病院	5
新入会	1343	筑後 孝夫	千葉県済生会 習志野病院	6
新入会	1344	佐藤 秋生	狭山病院	2
新入会	1345	茂木 雅和	東大宮総合病院	6
新入会	1346	駒形 一成	埼玉医科大学国際医療センター	3
新入会	1347	三反崎 宏美	アルシエクリニック	6
新入会	1348	山下 哲央	群馬県立がんセンター	4
新入会	1349	磯部 千恵	埼玉医科大学国際医療センター	3
再入会	1339	吉井 章	東大宮総合病院	6
再入会	1135	蓮見 浩之	大宮中央総合病院	6

会員数	1259名	前回会員数 1247名 12名増加
新入会	10名	今年度累計 75名
再入会	2名	今年度累計 5名
転入	0名	今年度累計 2名
転出	0名	今年度累計 4名
退会	0名	今年度累計 6名

平成23年度 第3回常任理事会議事録（抄）

日 時：平成23年9月6日（水）18：30～20：00

場 所：技師会センター

出 席 者：会 長 小川 清

副 会 長 堀江 好一、橋本 里見

常 任 理 事 田中 宏、芦葉 弘志、結城 朋子、中村 正之、
富田 博信、潮田 陽一

委任状提出：なし

第1. 会長挨拶（要旨）

ニュースでもとりあげられている、核医学検査の過剰投与問題について、埼玉県や日本放射線技師会がアンケート調査にのりだしている。今後を見守りたい。

第2. 議事録作成人、議事録署名人の選出

議 長 小川 清

議事録署名人 橋本 里見、堀江 好一

議事録作成人 芦葉 弘志

と定めた。

議事録作成人、議事録署名人の選出につづき、小川会長を議長に選出し、平成23年度第3回常任理事会を開催した。

第3. 報告及び確認事項

1. 会長（小川）

- (1) AIに関する活用について資料をもとに説明した。
- (2) 福島原発事業所内診療所派遣業務について資料をもとに説明した。
- (3) PMDA利用促進資料をもとに説明した。
- (4) 平成23年度関東甲信越放射線技師学術大会宿泊者を検討した。
- (5) 平成23年度全国放射線技師学術大会情報交換会から日本酒要請があった。
- (6) レントゲン週間イベント実行委員会へ5名派遣要請を検討した。
- (7) 放射性医薬品過剰投与問題について 埼玉核医学技術研究会へアンケート調査の協力を要請した。

2. 堀江副会長

- (1) 9月9日増田税理士と公益社団法人の件で、9月9日に県庁訪問予定。

3. 橋本副会長

- (1) 8月21日（日）日本放射線技師会主催の一般撮影講習会が終了した。参加者は56名であった。

4. 総務（田中）

- (1) 日放技50、30年表彰についての申請は9月12日（月）に開催する総務委員会で決定する。
- (2) SARTセミナー開催後の入会状況について。

5. 総務（芦葉）

- (1) 平成23年度 第2回常任理事会議事録確認（7月6日）
- (2) ソフトボール大会について
 - ア. 申し込み状況 技師会センターへは0件であるが第六地区から2チーム参加予定
 - イ. 進捗状況
- (3) 役員研修会について

日時 平成23年11月22日（火）19：00から20：15

場所 大宮ソニックシティ 905号室

6. 編集情報（潮田）

- (1) 編集情報委員会開催
 - ア. 第3回編集・情報委員会
 - (ア) 日時：平成23年8月9日 18：30～20：30
 - (イ) 場所：技師会センター
 - (ウ) 内容：
 - a. 埼玉放射線 2011年第5号発刊について

b. Web管理およびメールマガジン発行について

c. 学術委員会との合同企画について

d. 埼玉放射線2011年第6号以降の企画について

e. その他

(2) 埼玉放射線（会誌）について

ア. 埼玉放射線第5号は9月11日発刊予定

(3) Webサイト、メールマガジン掲載、更新

ア. 会員向けホームページ更新

(ア) 死因究明に資する死亡時画像診断の活用に関する検討会報告書

(イ) 第5回 埼玉医療安全大会

(ウ) 循環器被ばく低減技術セミナー

(エ) 2010年埼玉放射線バックナンバー

(オ) 勉強会などの開催予定を更新

イ. 市民向けホームページ更新

(ア) 平成23年度深谷市福祉健康まつり開催

(イ) 被ばく相談 開催のお知らせ

(ウ) 川越市健康祭り 開催のお知らせ

ウ. メールマガジン発行

(ア) no.37～no.40発行

(4) 今後の予定

ア. 平成23年10月11日 第4回編集情報委員会

7. 学術（富田）

- (1) 平成23年8月23日に第3回学術委員会を行った。
- (2) 各セミナー、講習会進捗状況を報告した。
- (3) 第27回学術大会について
 - ア. プログラム内容、部屋割り、参加費、機器展示費について報告した。次回議案提出予定

8. 公益（中村）

- (1) 第2回志木市被ばく相談を開催

日 時：7月24日（日）9：00～12：00

場 所：志木市総合福祉センター 303会議室

相談員：議会委員 志藤委員
- (2) 今後の予定
 - ア. リレー・フォー・ライフ川越

日時：9月17日（土）13：00～18日（日）13：00

場所：川越水上公園 芝生広場
 - イ. 第3回被ばく相談

日 時：9月25日（日） 9：00～12：00

場 所：越谷市北部市民会館

相談員：志田委員 志藤委員

第4. 審議・承認事項

1. 平成23年度第5回埼玉医療安全大会後援について審議し、これらを承認した。（議案書番号：常理-45）
 2. 平成24年度第11回乳がん市民フォーラム 所沢の後援について審議し、これらを承認した。（議案書番号：常理-46）
 3. ISSN（International Standard Serial Number：国際標準逐次刊行物番号）取得について審議し、これらを承認した。（議案書番号：理-47）
 4. 「埼玉放射線」の発送方法など変更について審議した。第四種郵便の認可は保持し、民間の発送会社へ委託することを承認した。（議案書番号：理-48）
- 次回、平成23年度 第4回常任理事会予定 平成23年11月2日（水）

配布資料（メール配信を含む）

- (1) 会長資料
- (2) 副会長資料
- (3) 総務、財務資料
- (4) 編集情報資料
- (5) 公益資料
- (6) 学術資料
- (7) 議案書

平成23年度 第5回理事会議事録（抄）

日時：平成23年10月5日（水）18：30～21：00

場所：技師会センター

出席者：会長：小川 清

副会長：堀江 好一、橋本 里見

常任理事：田中 宏、芦葉 弘志、結城 朋子、潮田 陽一、
富田 博信、中村 正之

理事：星野 弘、八木沢 英樹、栗田 幸喜、今出 克利、
佐々木 健、双木 邦博、大西 圭一、庭田 清隆、
山田 伸司、矢崎 一郎

監事：山本 英明

顧問：和田 幸人

委任状提出者：石川 直哉

欠席：鈴木 正人

第1. 会長挨拶（要旨）

60周年記念式典や公益社団法人取得などの不定期なイベントがあり、理事全員で力を合わせ取り組んでいきたい。日放技では、業務実態調査をもとに、業務の洗い出しをおこなっている。チーム医療を構築するために、メディカルスタッフとして法律改正も視野に入れて活動している。埼放技として協力をしていきたい。

第2. 議事録作成人、議事録署名人の選出

議長：小川 清

議事録署名人：橋本 里見、田中 宏

議事録作成人：芦葉 弘志

と定めた

第3. 報告及び確認事項

1. 会長（小川）挨拶

- (1) 平成23年度診療放射線技師学術大会報告
- (2) 第2回全国会長会議報告
- (3) 60周年記念祝賀会準備 特別講演（岩崎榮）、中澤会長挨拶は依頼済み

2. 副会長（堀江）

- (1) 9月9日（金）増田顧問税理士と共に、県庁医療整備課を訪問。
- (2) 9月10日（土）医療整備課の谷戸様宛に日本放射線技師会と埼玉県放射線技師会の認定資格の違いについての解説文を作成しE-mailにて送信。
- (3) 9月16日（金）公益社団法人への移行認定の申請手続きを行った。
- (4) 9月28日（水）60周年記念事業実行委員会を開催した。

3. 副会長（橋本）

- (1) 8月21日（日）日本放射線技師会主催の一般撮影講習会が終了した。参加者は56名であった。（一部講師を変更し開催した）
- (2) 9月16日（金）日本放射線技師会会員データベース実務者会議に出席した。（内容は現在構築中の会員データベースの取り扱い説明と今後の修正予定についての解説であった。まだ構築中の段階で完成までもうしばらく待っていただきたいとのこと。）
- (3) 9月17日（土）日本放射線技師会会長会議に小川会長の代理として出席した。
- (4) 9月24日（土）細野氏叙勲祝賀会に小川会長の代理として出席した。

4. 総務（田中）

- (1) 日放技50、30年表彰についての申請は9月12日（月）に総務委員会を開催し、表彰対象者を抽出した。30年対象者は24名（内会費未納者7名）、50年対象者はいなかった。
- (2) SARTセミナー開催後の入会状況は次の通りである。受講者45人、内既入会者1名、東京都勤務8名。日放埼放両方入会者17名、埼放のみ入会者5名であった。結果、36名中22名加入率61%であった。

- (3) 第28回予算総会運営委員の選出のお願い（平成24年3月11日開催予定）。各地区1名ずつ、別に議長候補を3地区から1名選出をお願いしたい（12月7日の理事会まで）。

- (4) 第29回定期総会運営委員の選出のお願い（平成24年5月開催予定）。各地区1名ずつ、別に議長候補を3地区から1名選出をお願いしたい。

5. 総務（芦葉）

- (1) ソフトボールについて
9月27日現在（FAX）3チーム参加申し込みあり。追加第四地区1チーム予定 内わけ 協賛企業 0チーム 会員チーム 4チーム
- (2) 役員研修会について
参加確認 研修会17人 懇親会15人
名目 平成23年度役員研修会
日時 平成23年11月22日（火）19：00～20：30
場所 大宮ソニックシティ 905号室
内容 技師会活動について、それぞれの考え方や思い、職場でのメリットなどを講師に発表していただき、会場参加の方とディスカッションしていく。
※終了後 大宮駅近郊にて懇親会を予定

6. 編集・情報（潮田）

- (1) 埼玉放射線2011年第5号の発行
ア. 埼玉放射線2011年第5号の発行は9月12日に発刊された。
- (2) Webサイトの運営
ア. Webサイトの更新およびメールマガジンの発行を行なった。
- (3) 発送方法の変更
ア. 2011年第6号より発送方法および封筒を変更する。平成23年度第3回常任理事会にて承認。
- (4) ISSN (International Standard Serial Number：国際標準逐次刊行物番号) 取得した。
ア. ISSN 取得を国立国会図書館に申請中。平成23年度第3回常任理事会にて承認。
- (5) 今後の予定
ア. 第4回編集・情報委員会の開催（2011No.6）
(ア) 日時：平成23年10月11日 18：30～
(イ) 場所：技師会センター
(ウ) 内容：埼玉放射線 2011年第6号発刊について
イ. 埼玉放射線 2011年第6号発刊
(ア) 日程：平成23年11月15日 予定
- (6) 埼玉放射線2011年第6号掲載予定内容を確認した。

7. 編集・情報（八木沢）

- (1) Webサイト 掲載および更新（会員用）を確認した。
- (2) Webサイト 掲載および更新（一般用）を確認した。
- (3) メールマガジン 配信
ア. メールマガジンno39、no40、no41、no42配信
イ. メールマガジン転送エラーアドレス削除（3通）

8. 学術（富田）

- (1) 平成23年8月23日に第3回学術委員会を開催した。埼玉県放射線技師会主催の各セミナー、講習会進捗状況報告。概ね順調に進んでいる。乳腺セミナーは9月10日に開催した
- (2) 第27回学術大会について プログラム内容に関して確認した。部屋割りに関して確認した。
- (3) 平成23年9月5日に第4回学術委員会を開催した。各セミナーの進捗状況報告。第27回学術大会について当日の導線、受付、会場、プログラムとの整合性など確認した。

9. 公益（中村）

- (1) 第1回公益委員会を開催した。
- (2) 第2回志木市被ばく相談を開催した。
- (3) 埼放技ホームページより被ばく相談あり。

- (4) 第3回被ばく相談を開催した。
 - (5) 今後の予定 彩の国いきいきフェスティバルの開催。第4回被ばく相談の開催。
10. 公益 (星野)
- (1) リレー・フォー・ライフ川越2011に参加した。
 - (2) 彩の国いきいきフェスティバル事前説明会に参加した。
11. 第一地区 (双木)
- (1) 報告
 - ア. 第2回地区役員会を開催した。
 - イ. 第一地区ホームページについて、役員会にて了承を得た。
 - (2) 今後の予定
 - ア. 第1回地区勉強会を行う。
 - イ. 浦和区健康まつり ～心と体の健康フェスタ～
 - ウ. 第2回勉強会&忘年会を行う。
12. 第二地区 (大西)
- (1) 地区役員会を開催した。
 - (2) 今後の予定
 - ア. 第2回勉強会を行う。
 - イ. 所沢市市民健康祭を行う。
 - ウ. 第3回勉強会・地区総会を行う。
13. 第三地区 (庭田)
- (1) 報告事項
 - ア. リレー・フォー・ライフ川越に参加した。
 - イ. 第25回川越市健康まつり 第2回実行委員会に出席
 - (2) 今後の予定
 - ア. 第三地区ボウリング大会開催 (平成23年10月27日)
 - イ. 第25回 川越市健康まつり、医療画像展 (平成23年11月6日)
 - ウ. 第2回 第三地区 勉強会開催 (平成23年11月24日 予定)
 - エ. 第2回 役員会開催 (平成23年11月24日 予定)
 - オ. 新年会 (平成24年1月7日 予定)
 - カ. 第3回 第三地区 勉強会開催 (平成24年3月22日 予定)
 - キ. 第3回 役員会開催 (平成24年3月22日 予定)
 - ク. 平成23年度 第三地区 定期総会 (平成24年3月22日 予定)

14. 第四地区 (山田)
- (1) 地区役員会を開催した。
 - (2) 第2回地区勉強会を開催した。
 - (3) 今後の予定
 - ア. 深谷市福祉健康まつり 参加
 - イ. 地区忘年会
15. 第五地区 (矢崎)
- (1) 報告事項
 - ア. 越谷市民祭り事業室会議の参加
 - (2) 今後の予定
 - ア. 地区勉強会の開催
 - イ. 医療画像展の開催
16. 第六地区 (石川)
- (1) 地区役員会を開催した。
 - (2) 平成23年度第一定期講習会予定
 - (3) 地区忘年会予定
18. 財務 (結城)
- (1) 会費納入状況について説明した。
 - (2) 予算執行状況について説明した。
 - (3) 乳腺セミナー収支について説明した。

配布資料 (メール配信を含む)

- (1) 会長資料
- (2) 副会長資料
- (3) 総務・財務資料
- (4) 編集・情報資料
- (5) 学術資料
- (6) 公益資料
- (7) ホームページ資料
- (8) 各地区資料 (第一地区、第二地区、第三地区、第四地区、第五地区、第六地区)
- (9) 議案書

第4. 審議・承認事項

	議案番号	審議日時	案件	事由および内容、審議内容	議決	備考
第5回理事会	常理-49	10月5日	新入会の承認	東京在住、在勤者1名を除いて承認した。	承認	一部修正
第5回理事会	理-50	10月5日	第27回学術大会テーマ 「大会テーマ：START TODAY」	本年度学術大会テーマを学術から提案する。副題を理事会にて審議した。審議の結果、副題はなしとなった。3.11は震災1年目であるのでそれに絡めてのテーマである。	承認	提案通り
第5回理事会	理-51	10月5日	第27回学術大会 会員参加費を例年の1000円から2000円 非会員例年2000円から3000円 機器展示登録費用を例年10000円から 20000円としたい。	学術大会費用は会場の立地条件や非公施設ということを考え、また、他団体の学術大会の参加費などを考慮して承認した。	承認	提案通り
第5回理事会	理-52	10月5日	第27回学術大会プログラム 別添資料 プログラム (案)	本年度学術大会プログラムを学術委員会から提案する。例年とはほぼ同規模一般演題、学生演題、大会セッション、テクニカルディスカッション (MRI：新規) (一般撮影：新規)、特別講演 (未定) 県民公開講座、機器展示、読影コーナー (CT、超音波、乳腺、上部消化管) 開会式9：50～閉会式16：30分 (事前準備の関係) 会場は17：00まで使用可能、撤去は30分で行う。	承認	提案通り
第5回理事会	理-53	10月5日	平成24年度 埼玉県診療放射線技師会・関東部会同 学術交流会 (仮称) 開催の可否	平成24年6月、9月、11月のいずれかで開催期間は1日とする。日本放射線技術学会関東部会と共に協力し、地域の診療放射線技師の活性化並びに資質の向上をして参りたい。将来は、合同学術大会の開催が理想だが、諸事情もあるためまずは、本年度の関東部会においての合同セッションに続き、少しでも合同の企画を行い、実績を積み上げ今後につなげていければ幸いである。	承認	提案通り
第5回理事会	理-54	10月5日	浦和区健康まつり ～心と体の健康 フェスタ～ 参加に際し、予算案の承認 および展示パネル、のぼり、骨密度 装置の貸し出しについて	技師会活動の一環として、「浦和区健康まつり～心と体の健康フェスタ～」に放射線展を開催したい。医療で用いる放射線検査についての説明無料骨密度測定の実施 (1台)	承認	提案通り
第5回理事会	理-55	10月5日	日本消化管画像研究会 第18回関東 研修会への後援依頼について	日本消化管画像研究会より、埼玉で開催予定の第18回関東研修会への後援依頼があった。	承認	提案通り
第5回理事会	理-56	10月5日	日本消化器がん検診学会関東甲信越 地方会放射線部会主催 「胃X線検査レベルアップセミナー」の 後援依頼について	部会より後援の依頼があった。技師会会員も学会員と同額の参加費であれば埼玉放技としては承認する。	承認	一部条件あり